



県電設協

貢献活動に146人参加

熊本市中心街の道路清掃

熊本県電設業協会（岩崎裕会長）は14日、「道路ふれあい美化ボランティア活動」に取り組んだ。会員とその家族ら146人が参加し、熊本市中心街の熊本高森線を清掃した。

熊本市との協定に基づき、春と秋の年2回実施している活動。白川の大甲橋から坪井川の桜町橋

までの1.5キロ区間を2グループに分け、歩道や植樹帯に捨てられたごみを約1時間かけて拾い集めた。

作業前には、安全福祉委員会の田村太作委員（タイヘイテクノフ）が委員長挨拶を代読し、「協会のボランティアは今回で通算25回目となる。活動はSDGsの目標にも通じるもので、持続可能な社会の実現に少しでも貢献しよう」と参加者と呼び掛けた。